

新火葬場地域経過報告会(笠原地域)でのおもなご意見

7月21日(水)笠原消防会館にて開催した、新火葬場地域経過報告会にご参加いただき誠にありがとうございました。報告会でお聞きしたおもなご意見とその回答を次のとおりまとめましたのでご覧ください。

日 時 平成22年7月21日(水)午後7時～

場 所 笠原消防会館

参加者 31人

○質問 クリーンセンターの跡地に火葬場ができると、潮見公園や市之倉の窯元、新しく建設されるタイル博物館等とこの地域とのつながりが途絶えてしまうのではないのでしょうか。クリーンセンターの跡地には、火葬場ではなく、公園などの若い人達が集まってくるような施設をつくってください。

最近の火葬場は、文化施設のような外観を呈しているものも多く、また、隣接して公園を整備している例もあります。たとえば、この地域の特徴である、タイルや陶器を用いた外観など、観光客の方が見られた場合も、支障がないよう配慮していきたいと考えています。

○質問 長瀬町の火葬場は生活道路を経由する問題があるとのことですが、山の中に道路を通せばできませんか。

山の中に道路を通すという案についても検討しましたが、多大な費用と時間がかかるため、実現は困難であると判断しました。

○質問 この地域から三の倉センターは遠く、笠原クリーンセンターが無くなってしまうと大変不便です。一方的に笠原クリーンセンターを閉鎖して、火葬場を建てるということには納得できません。

合併の結果、2つのごみ焼却場を保有することとなったため、経費合理化の観点から、笠原クリーンセンターについてはごみ焼却を休止しました。新火葬場の建設地にならなくても、焼却ごみの持ち込みは22年度末までとして、以後はゴミステーションでの収集をしていくことにご理解をお願いしているところです。いずれにしても、笠原クリーンセンターの焼却場は取り壊すこととなりますので、跡地の有効利用の観点から、火葬場として候補地にいれさせていただいたものです。

○質問 先進地見学会の開催日は「かさはらいこまい祭り」の開催日です。この地域の多くの人は見学会に参加できません。

皆様に参加していただけるよう、土曜日・日曜日を対象とし、友引でもある日を選んだ結果8月7日としました。「かさはらいこまい祭り」の開催日であったという点に配慮できなかったことは大変申し訳なく考えており、再度、見学会を開催するよう検討いたします。

○質問 候補地入り口付近の道路は冬季、凍結し危険な箇所があります。道路幅の拡張などの対応をお願いします。

建設地に決まった際には、十分配慮して検討していきます。

○質問 火葬場だけでなく、相部屋特別養護老人ホームをつくってください。

特別養護老人ホームの新施設建設については、3年間単位の介護保険の事業計画の中で決めていくことですので、ご意見として受け止めさせていただきます。

○質問 長瀬町の候補地については、議会で一度決定したことが白紙に戻ったと聞いています。一度議会で決定したことをやめてしまうことは問題ではないですか。

有識者による候補地選定委員会で検討した結果、望ましい候補地として長瀬町とする答申が委員会から市長に提出されたもので、議会で決定したものではありません。

○質問 長瀬町の候補地は、道路整備などの影響で事業費が大きくなることが候補地断念の理由であると説明がありました。今回の候補地の中には民有地がありますが、民有地を買い上げると、同様に事業費が大きくなりませんか。

長瀬町においても、現火葬場の隣地に用地を購入する必要があります。また、道路建設費用については、候補地の北側から進む場合、隣にゴルフ場や住宅団地がある関係から、回りこむ形で道路を建設することになるため、多額の費用が必要となります。また、南側は中央道があり、中央道の上を越えるか、下にトンネルを作ることになるため、こちらも多額の費用が必要になります。

また、各候補地にはクリアしなければならない課題があり、取得費用の高さも課題のひとつと考えます。取得費用が高ければ、候補地としての評価が下がるということも考えられ、そうした点も含めて、候補地の全体的な評価を行ない選定していきたいと考えます。